

授業科目名	レクリエーション活動	担当教員名	新山 悦子
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 2講座)
科目区分	その他の科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>いろいろな身近な物を利用したあそびを知る。いろいろなあそびをマスターする。ナワとびの基本をマスターする。鬼あそびをスムーズに指導する。</p> <p>(1)利用者及び社会福祉事業従事者の保健の意義について理解する。</p> <p>(2)レクリエーション活動の社会的意義を理解する。</p> <p>(3)体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。</p> <p>(4)体育指導及びレクリエーション活動援助を実技を通じて計画作成能力・実技能力を習得向上させる。</p>		
授業の概要	レクリエーションの意味と必要性を認識し、いろいろなレクリエーション(あそび)を体験し、認識と技術・指導のポイントを習得する。コーディネーション能力の向上・身体を動かす楽しさを実践し、不安愁訴を軽減し、運動不足の解消に努め、仲間づくり、体力づくりに努める。鬼あそびを考察し相互指導する。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	「楽しいアイスブレーキングゲーム集」三浦一朗著(日本レクリエーション協会)、「楽しみながら運動能力が身につく!幼児のためのコーディネーション運動」東根明久著(ナツメ社)		
成績評価の方法	○参加意欲…20% ○実技発表・試験…60% ○授業態度…10% ○指導案…10%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	・授業内容、諸注意の伝達 ・レクリエーションの意味と必要性について ・ミニレクリエーション実施	(1),(2),(3)	
第2回	* 手具を使ったレクリエーション① ボールを使ったレクリエーション	(3),(4)	
第3回	* 手具を使ったレクリエーション② フープを使ったレクリエーション	(3),(4)	
第4回	* 手具を使ったレクリエーション③ ナワを使ったレクリエーション	(3),(4)	
第5回	※ 1 回目テスト (ナワとびの基本)	(3),(4)	
第6回	* 身近な物を使ったレクリエーション① 新聞紙を使ったレクリエーション	(3),(4)	
第7回	* 身近な物を使ったレクリエーション② イスを使ったレクリエーション	(3),(4)	
第8回	* 身近な物を使ったレクリエーション③ タオル、箸などを使ったレクリエーション	(3),(4)	
第9回	* 身近な物を使ったレクリエーション④ 昔あそび(けん玉、こま、お手玉等)	(3),(4)	
第10回	* 体を使ったレクリエーション① 昔うたあそび (かごめかごめ、花いちもんめ、通りやんせ、あんたがたどこさ など)	(3),(4)	
第11回	* 体を使ったレクリエーション② 体操あそび (ラジオ体操、輪ぐり、なべなべ、リズム体操)	(3),(4)	
第12回	* 体を使ったレクリエーション③ ジャンケンあそび、鬼あそび (チームで鬼あそびを考察する)	(3),(4)	
第13回	※ 2 回目テスト (相互指導①) 鬼あそびをチームで指導する	(3),(4)	
第14回	※ 2 回目テスト (相互指導②) 鬼あそびをチームで指導する	(3),(4)	
第15回	※ 2 回目テスト (相互指導③) 鬼あそびをチームで指導する	(3),(4)	
定期試験	実技試験		